

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

«無断転載禁止»

レジメン番号： GAST-117

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
HER2陽性 胃がん	Tmab + Cape/CDDP (Tmab+XP療法)	21日間	6コース+α	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet 376: 687-97, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
①	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	初回 90分	↓																					
	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	2回目以降 30分																						
②	デキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																					
③	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓																					
④	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																					
⑤	シスプラチニン 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓																					
⑥	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																					
⑦	カペシタビン	2000mg/m ² /日	内服	1日2回に分けて朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

<注意事項/備考>

- ✓ 6コース終了後、Tmab (+Cape) (3週) を、PDとなるまで継続
- ✓ CDDP : 腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 催吐リスク : 高 : NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ Cape投与量 : BSA < 1.36m² : 2400mg/day、1.36 ≤ BSA < 1.66m² : 3000mg/day、1.66 ≤ BSA < 1.96m² : 3600mg/day、BSA ≥ 1.96m² : 4200mg/day
- ✓ Capeの内服タイミング : Day1の夕食後からDay15の朝食後まで (ただし、Day2の朝からの内服でも可)
- ✓ HFS (Cape) : 保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意